

令和7年度シラバス（公共）

中等1 新潟県立村上中等教育学校

教科(科目)	公民（公共）	単位数	2単位	学年	5学年
使用教科書	実教出版 『詳述 公共』				
副教材等	実教出版 『ズームアップ公共資料2025』、 実教出版 『詳述公共マイノート』				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	～卒業までにこのような資質・能力を育みます～ ①幅広い教養を身につけ、他者と協働しながら、粘り強く挑戦し続け、地域社会や国際社会に貢献する意欲や資質・能力を備えた人材を育成します。 ②主体的、自律的な人間として、行動力にあふれ、自他を大切にする思いやりの心とリーダーシップを兼ね備えた人材を育成します。 ③主体的に学ぶ力を身に付け、社会における課題等に気づき、創意工夫、試行錯誤を重ね、その解決のために行動できる人材を育成します。
カリキュラム・ポリシー	～上記の資質・能力を育成するため、発達段階に応じて1・2年を「基礎の充実」、3・4年を「発展・挑戦」、5・6年を「自律・深化」に分け、学習内容の確かな定着、主体的で対話的な学習態度の育成を図りながら次の教育活動を展開します～ ①総合的な応用力、学問への探究心を育むとともに、知識や技能を活用するための思考力、判断力、表現力を育成する課題解決型の授業を実施します。 ②他者とコミュニケーションを取りながら、地域社会や我が国の魅力を国内外に発信できる知識・技能等を高めるための学習活動を実施します。 ③身に付けた力を社会で発揮するため、地域貢献活動、社会体験活動への参加を推進します。 ④自己肯定感を高め、他者を思いやり、多様性を理解する態度等を育成するため、系統的な特別活動や学年を超えた多様な体験活動を実施します。

2 学習目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- （1）現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- （2）現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- （3）よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3 指導の重点

基礎事項の定着を目指すとともに、科目への興味・関心を高めることを通じて、現代の諸課題に対して自主的・自立的にアプローチできる能力を育む。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
-------	----------	---------------

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
--	--	--

5 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査、小テスト、レポートやワークシートなどから、評価します。	定期考査、小テスト、レポートやワークシートなどから、評価します。	授業中の発言、発表や討論への取組の観察レポートや提出物などから、評価します。

6 学習計画

月	単元名	学習活動(指導内容)	授業時数	評価方法
4	第1編 公共の扉 第1章 社会を作る私たち 1. 生涯における青年期の意義 2. 青年期と自己形成の課題 3. 職業生活と社会参加 4. 現代社会と青年期の生き方 第2章 人間としてよく生きる 1. ギリシアの思想 2. 宗教の教え	・人生の中で青年期はどのような意味をもつのか、自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としてのあり方生き方について理解している。 ・公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 ・自分自身が、自主的によりよい公共的な空間を作り出し、いこうとする自立した主体になることが、自らのキャリア形成とともに、よりよい社会の形成に結び付くことについて理解している。	6	ワークシートの確認
5	3. 人間の尊重 4. 人間の自由と尊厳 5. 個人と社会 6. 主体性の確立 7. 他者の尊重 8. 公正な社会	・倫理的価値の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験などを通して、多面的・多角的に考察、表現している。 ・公共的な空間でどのように生きるかについて、先哲の生き方などを参考に、人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	7	ワークシートの確認

6	第3章 民主化の倫理 1. 人間の尊厳と平等 2. 自由・権利と責任・義務 第4章 民主国家における基本原理 1. 人権保障の発展と民主政治の成立 2. 国民主権と民主政治の発展	・自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、選択・判断の手掛かりとしての二つの考え方をもとに、行為者自身の人間としてのあり方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 ・人間社会を運営していくために必要な意思決定の原理を理解し、また民主政治の成立や基本的人権の成立過程について考察している。	7	ワークシートの確認 中間 考 査
7	第2編 よりよい社会の形成に参加する私たち 第1章 日本国憲法の基本的性格 1. 日本国憲法の成立	・日本の安全保障と防衛について、国連憲章や日米安全保障条約、平和主義を掲げる日本国憲法の下、現代の諸課題の解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。 ・法をよりよく変えていくために、自由権の意味や、社会権が私たちの生活をどのように変えたのか、新しい人権とは何かをさまざまな立場に立って考察している。	6	ワークシートの確認
8	2. 平和主義と我が国の安全 3. 基本的人権の保障 4. 人権の広がり 第2章 日本の政治機構と政治参加 1. 政治機構と国民生活	・三権分立やその機関の役割を理解し、主権者として政治に参加する意義を考察している		
	探究活動	・自主的に課題を設定し、資料を収集・分析し自分の意見をまとめている。	1	レポート
9	2. 人権保障と裁判所 3. 地方自治 4. 選挙と政党 5. 政治参加と世論 第3章 現代の経済社会 1. 経済社会の形成と変容	・選挙権年齢が18歳以上であることを踏まえ、選挙の意義や、政治的無関心の危険性などについて理解している。 ・少子化や財政難などの問題を抱える地方の現状を理解し、自分自身の問題として地方の課題について考察している。 ・選挙のしくみ、政党の役割、世論の形成について、さまざまな情報手段を活用して、考察、構想し、表現している。 ・経済の基本的なしくみと資本主義経済、社会主義経済の特徴を理解している。	7	ワークシートの確認 期 末 考 査
10	2. 市場の仕組み 3. 現代の企業 4. 経済成長と景気変動 5. 金融の働き 6. 政府の役割と財政・租税	・価格の変化が、消費者と企業の行動にどのように影響を及ぼしているか、さまざまな観点から多面的・多角的に考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・複合化、強大化する現代の企業のあり方とその活動について理解し、その問題点について考察する。 ・金融のはたらきについて、現代の諸課題を主体的に取り組もうとしている。 ・財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。	7	ワークシートの確認

11	第4章 経済活動のあり方と国民福祉 1. 日本経済の歩みと近年の課題 2. 中小企業と農業 3. 消費者問題 5. 労働問題と雇用 6. 社会保障	・戦後の復興から高度成長、さらに現代経済の課題について理解し、課題の克服について考察している。 ・技術革新の進展による生活の変化、産業構造の変化、経済のサービス化・ソフト化について、身近な問題と関連させて考察、構想し、論拠をもって表現している。 ・日本の労働問題や雇用形態の特徴についてについて理解し、今後の労働環境等について考察している。 ・社会保障の意義を理解し、現在の社会保障の課題について考察している。 ・日本の労働問題や雇用形態の特徴についてについて理解し、今後の労働環境等について考察している。	7	ワークシートの確認 中間考査
12	第5章 国際政治の動向と課題 1. 国際社会における政治と法 2. 国家安全保障と国際連合 3. 冷戦終結後の国際政治	・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・国際社会と国家主権について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	3	ワークシートの確認
	探究活動	・自主的に課題を設定し、資料を収集・分析し自分の意見をまとめている。	3	レポート
1	4. 軍備競争と軍備縮小 5. 異なる人種・民族との共存 6. 国際平和と日本	・人種・民族問題と地域紛争の実態、難民問題にする資料を、さまざまな情報手段を用いて収集し、課題の解決に向けて、国際社会では何がおこなわれているか、理解している。 ・国際社会の変化と日本の役割について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	7	ワークシートの確認
2	第6章 国際経済の動向と課題 1. 国際経済のしくみ 2. 国際経済体制の変化 3. 経済のグローバル化と金融危機	・経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・貿易の意義、円高・円安が生じる理由、貿易摩擦などについて、考察、構想し、表現している。 ・国際社会における貧困や格差が解消されていない現状について、国際機構の役割や政府開発援助の意義が大きいことを理解している。	6	ワークシートの確認 期末考査
3	4. 地域経済統合と新興国 5. ODAと経済協力 第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・地域的経済統合がもたらす影響について理解している。 ・国際協力のあり方、国際協調の重要性から、日本の役割について自分自身の問題として、主体的に解決しようとしている ・持続可能な社会を作り出すためにどのように行動していけば良いか、SDGsの達成を手がかりとしてその方法を考察している。	6	ワークシートの確認

計73時間 (48分授業)

7 課題・提出物等

公共ノート、週末課題、レポート

8 担当者からの一言

この科目では、現代社会のしくみについて学ぶとともに、社会が抱えている諸課題について私たち一人ひとりがどのように関わることができるのか、関わるべきなのかについて学びます。6年生になると、みなさんは「成人」になります。その準備の一つとして大変重要な科目となります。与えられた課題に取り組むだけでなく、ぜひ主体的に学習してください。